

【研究発表 要旨】

第二次世界大戦期のラジオ劇版「カンタヴィルの幽霊」

永嶋 友

BBC ラジオにおいて、オスカー・ワイルドの短編「カンタヴィルの幽霊」（1887年）は第二次世界大戦より前に放送されることはなかったが、不思議なことに、大戦期には少なくとも三度（1941年11月20日、1944年5月2日、1944年7月27日）ラジオ劇として放送された。このことに、何か意味を見出すことができるだろうか。本発表では、まず、年表を通して、1930年代から第二次世界大戦期にかけてのイギリスのラジオ放送、ラジオ劇・フィーチャー、ラジオ・リスナー心理研究、ラジオ・リスナー調査、幽霊・スピリチュアリズムなどに関する社会的・文学的文脈を確認する。その上で、ワイルドの「カンタヴィルの幽霊」が大戦期に三度ラジオ劇としてBBC Home Serviceで放送された意義について考察したい。また、第二次世界大戦後に放送されたラジオ劇「カンタヴィルの幽霊」との比較を行い、さらに考察を深めたい。ラジオ劇版「カンタヴィルの幽霊」の分析には、the BBC Written Archives Centreのアーカイブ資料や*The Listener*の記事を使用する予定である。